



2023年2月10日

各位

会社名 ラオックスホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 飯田 健作
(コード番号 8202 東証スタンダード市場)
問合せ先 グループ財務経理室長 池内 大介
(TEL 03 - 5405 - 8859)

営業外収益・特別損失の計上及び2022年12月通期連結業績予想値と 実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2022年12月期連結会計年度(2022年1月1日～2022年12月31日)において、下記のとおり営業外収益・特別損失を計上いたしました。また、2022年2月10日に公表いたしました2022年12月期通期連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の計上

(1) 営業外収益の増加

当社は、貸付金に対して計上しておりました貸倒引当金につきまして、貸付金回収実績及び貸付先からの今後の回収可能見込額を見直した結果、第4四半期連結会計期間において、貸倒引当金戻入額353百万円を計上いたしました。

(2) 営業外収益の減少

2022年12月期第3四半期連結累計期間において、為替差益449百万円を営業外収益に計上していましたが、為替相場の変動により、2022年12月期連結会計年度の為替差益は211百万円となりました。この為替差益の減少は、当社グループが保有する外貨建債権の期末為替レートの評価替えによるものであります。

2. 特別損失の計上

当社子会社は、リテール事業における一部店舗を閉鎖したことに伴い、第4四半期連結会計期間において、減損損失131百万円、固定資産除却損93百万円、店舗整理損67百万円を特別損失として計上いたしました。

3. 2022年12月期通期連結業績予想値と実績値の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	60,000	200	150	100	1.09
実績値(B)	55,127	49	490	69	0.76
増減額(B-A)	△4,872	△150	340	△30	—
増減率(%)	△8.1%	△75.2%	226.9%	△30.2%	—
(参考)前期実績 (2021年12月期)	68,149	△2,846	△2,151	△7,110	△77.78

(差異の理由)

売上高については、海外事業において、中国における新型コロナウイルス感染症の影響は期初時点では地域限定的な範囲に留まると見込んでおりましたが、中国本土の「ゼロコロナ政策」による経済活動の制限が想定よりも広範囲に拡大し大きく影響を受けたことにより、前回予想を下回りました。また、グループ全体で販売費及び一般管理費の抑制に努めたものの、売上総利益の減少を補填するには至らず、営業利益についても、前回予想を下回る結果となりました。

一方、経常利益は、営業外収益において貸倒引当金戻入額が発生したことにより前回予想を上回ることになりましたが、リテール事業における一部店舗閉鎖に伴う減損損失等を特別損失として計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想を下回りました。

以上